

## 牧草優良品種の特性 (イネ科牧草編)

### チモシー

チモシーの優良品種は13品種登録されています。現在、最も多く栽培されているのは早生品種ですが、年2回刈りに適している中生品種の栽培を考えるとはいかがでしょうか。登録年の新しい品種は収量性、再生力、耐倒伏性、斑点病抵抗性などが改良されてきています。

チモシー優良品種の特性一覧

| 品 種 名   | 登録年 | 利用目的  | 特 性          | 栽培地域 |
|---------|-----|-------|--------------|------|
| ホクオウ    | 昭44 | 採草    | 早生           | 全道   |
| センボク    | 44  | 採草    | 早生           | 全道   |
| ホクレン改良種 | 46  | 採草    | 早生           | 全道   |
| ハイデミー   | 46  | 放牧    | 晩生、ほふく型、斑点病弱 | 全道   |
| ノサップ    | 52  | 採草    | 早生、再生良       | 全道   |
| ホクシュウ   | 52  | 採草・放牧 | 晩生、ほふく型      | 全道   |
| クンプウ    | 55  | 採草    | 極早生、再生良      | 全道   |
| ホクセン    | 59  | 採草    | 中生、斑点病やや弱    | 全道   |
| アックシ    | 平 4 | 採草・放牧 | 中生の早、斑点病強    | 全道   |
| キリタツプ   | 4   | 採草・放牧 | 中生の晩、斑点病強    | 全道   |
| ホクセイ    | 6   | 採草    | 早生、倒伏やや強     | 全道   |
| オーロラ    | 6   | 採草    | 早生、倒伏強       | 全道   |
| ホクエイ    | 7   | 採草    | 中生、再生良       | 全道   |

### オーチャードグラス

オーチャードグラスの優良品種は現在11品種登録されています。越冬性などの特性から栽培地域が限定されている品種がありますので、注意が必要です。

登録年の新しい品種は、特に越冬性および収量性が改良されています。

オーチャードグラス優良品種の特性一覧

| 品 種 名  | 登録年 | 利用目的  | 特 性        | 栽培地域 |
|--------|-----|-------|------------|------|
| キタミドリ  | 昭44 | 採草・放牧 | 早生         | 全道   |
| ヘイキング  | 46  | 採草    | 晩生         | 道東除く |
| ドリーゼ   | 46  | 放牧    | 中生、越冬性やや劣る | 道東除く |
| フロンティア | 47  | 採草・放牧 | 中生         | 全道   |
| オカミドリ  | 51  | 採草    | やや晩生、越冬性良  | 全道   |
| ケイ     | 53  | 放牧    | やや晩生、越冬性極良 | 道東限定 |
| ワセミドリ  | 62  | 採草・放牧 | 早生、越冬性良    | 全道   |
| ヘイキングⅡ | 62  | 採草    | 極晩生、越冬性良   | 全道   |
| ホクト    | 62  | 採草・放牧 | 晩生、越冬性良    | 全道   |
| グローラス  | 平 5 | 採草・放牧 | 晩生、越冬性極良   | 全道   |
| トヨミドリ  | 6   | 採草・放牧 | 極晩生、越冬性良   | 全道   |

## ペレニアルライグラス

ペレニアルライグラスの優良品種は現在3品種登録されています。いずれも放牧用品種です。放牧利用あるいは1番草をサイレージなどに利用してその後放牧利用するにしても、現在の3品種では出穂に4日程度の幅しかありませんので、放牧のし易さや収穫作業がやりやすいように出穂に幅のとれる品種メニューが望まれます。

ペレニアルライグラス優良品種の特性一覧

| 品 種 名 | 登録年 | 利用目的 | 特 性       | 栽培地域     |
|-------|-----|------|-----------|----------|
| フレンド  | 昭53 | 放牧   | 晩生、越冬性やや良 | 道北、道央、道南 |
| ファントム | 平 4 | 放牧   | 中生、越冬性良   | 道北、道央、道南 |
| トープ   | 4   | 放牧   | 中生、秋の生産性良 | 道北、道央、道南 |

この他、メドウフェスクでは混播適性に優れた「トモサカエ」、越冬性に優れた「リグロ」や「コマグリーン」等の新品種が最近登録されました。

## 刈り取り適期幅の拡大

新しい優良品種は、いろいろな形質が改良されてきているので、新品種を導入することで草地の収量や永続性、耐病性などをワンランクアップすることができます。

高品質の粗飼料生産のためには出穂始から出穂期までに刈取りを終えたいものです。

優良品種には特性の異なる豊富な品種メニューが揃っています。草地により出穂時期の違う草種・品種を栽培することで、効率良く高品質の粗飼料を収穫することができます。下図を見てみますと、早生のオーチャードグラスから晩生のチモシーまでを組み合わせると、1番草の刈り取り適期幅を1月以上にすることができます。



天北地方におけるチモシーおよびオーチャードグラスの出穂始

(土壌肥料科より)

## アルファルファの「でんぷん」に注目した新しい刈取り管理技術

あらゆる生物にとって、栄養分を体にとりこみ、蓄えることは、生命を支える重要な活動です。牧草の女王といわれるアルファルファの安定栽培は条件の恵まれた地帯に限られています。

当科では、アルファルファの株や根に蓄えられ、収量を左右する大切な栄養分の一つである「でんぷん」に注目した研究を行っています。そして、「でんぷん」の蓄積を多く維持するような管理をすれば、安定栽培が可能であることが分かってきました。

いま、「でんぷん」を目安にして、各地域の気象や土壌に合った新しい刈取りスケジュールを作ろうと、若手の大塚研究員が日夜奮闘中です。